

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話(243)0141
14年2月3日

確定申告準備班会を連続開催

石山支部

石山支部では、この一月に記帳義務化などを伝えるための確定申告準備班会を開催し、四ヶ所の班会で合計十一名が参加しました。

班会では四枚のパネルを使用して、自主記帳、記帳義務化、消費税増税、国保料の引き上げ、といった内容について支部長、支部役員から説明しました。

支部長は新しく県連の作成した日計表について説明し、「白色申告で小売業や飲食業などの現金商売なら、この日計表をきっちり付けていけば銀行の融資だってこれで通った。そこまで細かくなければ自主計算ノートを活用すればいい」と話しました。

国保料への市の予算繰り入れをなくして値上げし、BRT(連節バス)に三〇億円使おうとしているという説明、「BRTを喜んでいる人がいるなんて聞いたことが無い。それでただでさえ高い国保料が上げられるなんてたまったもんじゃない」と怒りの声がありました。

申告準備班会で自主記帳も交流

大形支部

大形支部で一月二五日に開催された申告準備班会では、長崎副会長がパネルで解説しました。消費税の輸出戻し税については特に参加者からの関心が強く、「貧乏などところから広く金を取るようにしておきながら、大企業には金を戻すような制度はおかしい」と怒りの声がありました。国保料の説明の際には、「BRTにお金を使うくらいなら国保財政に金をまわすべきではないのか」といった意見が出されました。

また、参加者の中には、すでに帳面を日計表で付けている会員もいて、自分がどんな風に帳面を付けているかを周りに説明してくれたことで、記帳の仕方の交流もできた班会となりました。

業者青年一人ひとり大切に
する
青年部を強く大きくしよう!

第三十三回

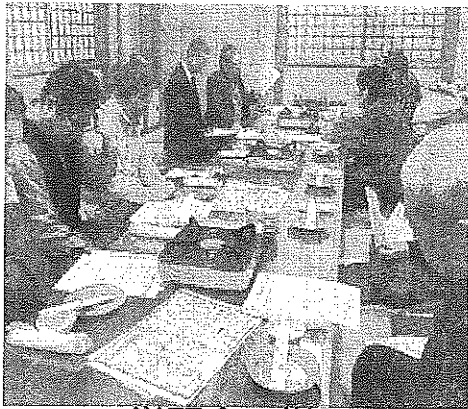
新商連青年部協議会定期総会

一月二五日(土)～二六日(日)の二日間に掛けて三条市の三観荘を会場に、第三十三回新商連青年部協議会定期総会が開催され、県内から延べ二十七名が参加しました(新潟民商からは五名)。一日目には「四月に開催された全国で初となるブロック別活動交流会を節目に、全民商に青年部を作ること目標に据え、民商の総合力を発揮するという目標に挑戦してきました。」や「十一月には全青協総会を目標に拡大大行動旬間を設定、各青年部の奮闘により全青協総会を増勢で迎えることができました。」など一年間の活動報告が行われた後「仲間と集まり、何でも話し合える場を」、「仲間づくりを大きく広げ、要求を実現できる力を」などの方針が提案されました。夜の懇親会では県内から集まった青年部の仲間同士活発に交流し、おおいに盛り上がりました。二日目には質疑応答、全体討論が行われ業者青年を巡る情勢として「消費税の増税問題」で盛り上がりました。建築業のAさんからは「駆け込み需要で今は良いがこの先どうなるのか心配だ。」やネット販売Bさんは「消費税の転嫁は出来ない。中間業者は自腹を切らなくてはいけない、売上を停滞させ景気を低迷させる絶対に増税には反対!」などの意見が活発に出されました。最後には総会方針の承認がおこなわれ、新年度に向けて新たな決意を固めました。



みんなで学びながら交流

二十五日、東山ノ下支部新年会をおやじの店で開きました。十三名が参加しました。大橋支部長のあいさつの後に学習会を行い、石山支部の支部長の伊藤隆さんからレジュメをみながら話を聞きました。



学習会の様子

伊藤さんは、今年から記帳が義務化されましたが、民商から配られている自主計算ノートを中心に記帳をしています。毎日の売上など記帳しているが、以前金融公庫に融資を申し込みに行った際に職員より「わかりやすく良い帳面ですね」と褒められて、おかげで融資が実現した。普段からの記帳は大事と訴え、消費税の輸出戻し税のところでは、「大企業ばかり恩恵を受けるような制度はおかしい」と参加者の声がありまし

米資本の保険会社から民商共済会を守ろう

… 関屋支部共済学習会開く…

一月二十四日、関屋支部の共済学習会が開かれ十四名参加しました。冒頭、近藤支部長は「国保値上げの動きに対し民商や共産党などが頑張つて、二年間の据え置きを勝ち取った」と運動の成果を話し、「共済会の勉強をして会員・家族の健康を守っていこう」と挨拶。菅原副理事長・野上副会長の挨拶のあと「Q&A15問・改訂版」を使つての学習に。「ふん」「なるほど」などの反応のあと、64才までの加入、65才からの加入、75才からの加入の違いに質問が集中しました。急増している外資系の保険と全商連共済会の関係について意見が出され、アメリカ資本の保険はいざという時に出ない（給付されない）という苦情が消費者センターに多く寄せられている実態が出され、共済会をつぶそうとしている保険業法やTTPPから民商共済会を守ろうと話し合われました。

新年度（4月）も共済学習会を計画することを確認し、懇親会に入りました。参加者のちょうど半分の7名が婦人部員。とつても元気な婦人部員に囲まれて、にぎやかで楽しい学習会になりました

た。また、伊藤さんからは民商の会員や商工新聞読者を増やして、仲間づくりを広げていこうと訴えました。学習会の後には、中村さんの乾杯で新年会がはじまり、みんなで交流しました。



新年会の様子

石山支部・伊藤支部長 加しましたが、商売のつながりで昔の知り合いに再会し、「世の中広くないね」ということもありました。最後に大橋支部長の一本締めで閉会となりました。

市長の国保値上げ案に対し

国保運営協議会が国保料据え置きへの答申案固まる。

23日の国保運営協議会では「国保料の改定は行わないで、一般会計からの繰り入れにより対応するのが妥当」との答申とりまとめをおこなうことが議論されました。私たちの要請行動・署名を反映した内容です。

※29日野上副会長参加で第一次署名提出

第二次提出は2月下旬予定です。「国保引き下げ署名」を広

げ、市長に国保引き下げの決断を迫りましょう！